

公益社団法人私立大学情報教育協会
2023 年度第 1 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：令和 5 年 10 月 6 日（金） 16：00 ～ 17：00
- II. 場 所：Zoom 会議室
- III. 参加者：井口担当理事・委員長、浜副委員長、峰内副委員長、糸川委員、下野委員、室井委員、石山委員、村山委員、向井委員、西松委員、岩本アドバイザー（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. 担当理事の挨拶と委員の紹介が行われた。
2. 大学情報セキュリティ研究講習会の開催要項について
 - (1) 事前課題について
 - ・ インシデント時には文部科学省への報告が不可欠となっており、提出後にやり取りの必要性があり苦慮している感想がある。そこで、情報インシデント発生時の報告様式を実際に書いてみる課題を想定している。題材としてはランサムウェア病院事例をもとに報告する例題を予定する。
 - (2) 全体会情報提供について
 - ・ サイバーセキュリティの最新動向と、そのインシデントレスポンスの概要について情報提供を検討することにした。
 - ・ 前回の委員会意見から、BCP を取り上げる方向性として、ランサムウェア感染時の BCP について、コンサル経験のある有識者からの情報提供を検討することにした。
 - (3) グループ討議について
 - ・ 事業継続強化対策計画の BCP への対応を基本にディスカッション演習を検討する。
 - ・ 最初に自己紹介も兼ねて事前課題の振り返りを考えている。
 - ・ ランサムウェアと BCP の関連事例として、つるぎ町立半田病院インシデント報告書から、ランサムウェア感染を想定したインシデントレスポンスについてグループ討議を考えている。
 - ・ 討議のための情報提供として、感染時のフォレンジックをベンダーに依頼した事例を紹介することになっている。
 - ・ 討議資料として、データ被害時のベンダー選定チェックシートの活用も検討したが、討議に上手く利用できるのか再検討することにした。
 - ・ グループ討議の最後には、自大学でのアクションプランを考える個人ワークの時間も設定することにした。
 - ・ 委員から役割についての意見があり、グループ討議では進行を促すレベルでのファシリテートを分担して対応することになっている。
 - (4) 開催日時について
 - ・ 研究講習会は、委員の対応可否を確認し、12 月 5 日にオンラインで開催することにした。

V. 次回のスケジュール

大学情報セキュリティ研究講習会の開催要項は、講師及びグループ討議のシナリオを調整した上で、大学に発信することになっている。